

$$\left[-\frac{\hbar^2}{2m}\nabla^2+V\right]\Psi=E\Psi$$

$$\frac{\partial^2 P}{\partial T^2}$$

第4回

TUT-CMSI 計算物質科学 “見える化” シンポジウム

# ケイサンで 拓く ミライ社会

平成28年  
**3月5日(土)**  
11:00 → 17:50  
秋葉原UDXシアター

<http://www.udx-t.jp/access.html>

**参加費無料** | Webでの事前登録制  
<http://www.cms-initiative.jp/>

定員が150名になり次第、受付を締め切らせていただきます。



CMSI広報誌  
TORRENT増刊号  
『ケイサン ブッシツ カガク』を  
参加者全員に配布(アンケート実施)  
(限定本・非売品)

## 招待講演

見える化しよう広報戦略  
吉戸智明(筑波大)

科学書籍編集部の現場から  
吉野敏弘(横学研プラス)

前特異点を創出する  
独自次世代スパコン  
齊藤元章(株PEZY Computing)

主催：豊橋技術科学大学(TUT)、  
計算物質科学イニシアティブ(CMSI) (東京大学物性研究所、自然科学研究機構分子科学研究所、東北大学金属材料研究所)、  
次世代シミュレーション技術者教育推進室(ADSIM)、文部科学省HPCI戦略プログラム(分野2)  
協力：文部科学省ポスト「京」重点課題(7)、文部科学省HPCI戦略プログラム(分野4)、(分野5)  
問い合わせ先：計算物質科学イニシアティブ(CMSI)事務局  
〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学 物性研究所 計算物質科学研究センター  
Tel: 04-7136-3279 Fax: 04-7136-3441 E-mail: adm-office@cms-initiative.jp

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

計算物質科学イニシアティブ

CMSI

# ケイサンで拓くミライ社会

科学技術への興味を感動に導く講師の皆様、参加者の皆様と、計算科学で拓く未来社会の姿を描き、“次世代の見える化活動”を議論します。そして、ICT社会を牽引する最先端研究と人材育成のありかたを探ります。

## シンポジウムプログラム

- 13:00** - **13:10**  
**13:10**
- @秋葉原UDXシアター**  
(アートとサイエンスの融合)  
**極微世界からの声**  
～感じる物質科学へ～  
監修:関野秀男(TUT)、  
映像:山崎隆浩(NIMS)、  
松本正和(岡山大)  
音楽:龍笛 Konoha、笙 大塚惇平
- 13:10** - **13:25**  
**13:25**
- 挨拶**  
TUT学長特別補佐 原邦彦(豊橋技科大・RAC)  
CMSI統括責任者 常行真司(東京大)  
文部科学省
- (プロジェクトサマリー)  
**13:25** - **13:50**  
**13:50**
- ここまで来た、  
計算物質科学の“見える化”活動**  
藤堂眞治(東京大・CMSI)
- 13:50** - **14:15**  
**14:15**
- 見えてきた!?  
次世代技術者教育の成果と  
今後のあり方**  
後藤仁志(TUT-ADSIM)
- (招待講演)  
**14:15** - **14:45**  
**14:45**
- 見える化しよう広報戦略**  
吉戸智明(筑波大)  
休憩1
- 15:05** - **15:45**  
**15:45**
- 科学書籍編集部の現場から**  
吉野敏弘(株学研プラス)
- 15:45** - **16:25**  
**16:25**
- 前特異点を創出する  
独自次世代スパコン**  
齊藤元章(株PEZY Computing)  
休憩2
- (パネルディスカッション)  
**16:45** - **17:00**  
**17:00**
- 最先端研究と人材育成をつなぐ  
～社会ニーズと研究シーズの共創へ～**  
原 邦彦(豊橋技科大・RAC)
- 17:00** - **17:50**  
**17:50**
- パネル討論**  
パネリスト:原邦彦・吉戸智明・  
吉野敏弘・齊藤元章・黒ラブ教授  
モデレータ:古宇田光(東京大・CMSI)
- 17:50**
- クロージング**
- 18:00** - **20:00**  
**20:00**
- 懇談会**  
**@秋葉原UDXギャラリー**  
(会費3,000円予定)

## 展示

- 監修:松本正和(岡山大)  
11:00-13:00 (シンポジウム開始前)  
14:45-15:05 (休憩1)  
16:25-16:45 (休憩2)
- @秋葉原UDXゲストルームE**
- 1.**  
**TUT次世代シミュレーション技術者教育、  
高専連携プロジェクト 成果報告**  
後藤仁志(TUT-ADSIM)、  
高専(旭川/函館/茨城/沼津/長岡/府大/  
高知/宇部)
  - 2.**  
**進化する分子模型**  
松本正和(岡山大)、山崎淳(東京大)
  - 3.**  
**計算物質科学ポータル  
“MateriApps”**  
小西優祐、他(東京大・CMSI)
- @秋葉原UDXシアターホワイエ**
- 4.**  
**黒ラブ教授コーナー**  
黒ラブ教授  
(吉本クリエイティブ/サイエンスコミュニケーター/大学講師)
  - 5.**  
**電子・原子・分子の魅せ方  
～3D電子雲クリスタルと次世代分子模型**  
時田澄男  
(ネビュラ/日本コンピュータ化学会)
  - 6.**  
**ナノワールドを魅せる**  
山崎隆浩(NIMS)
  - 7.**  
**TORRENT増刊号  
「ケイサン ブッシツ カガク」  
紹介コーナー**  
藤堂眞治(東京大・CMSI)

## 講師・演者紹介

**吉戸智明**  
筑波大学計算科学研究センター  
主任研究員  
スーパーコンピュータと素核宇宙分野の  
多機関連携広報を行う。  
広報コンテンツ制作から戦略立案まで幅  
広く活動。学部時代から通算で6つの大  
学と2つの民間企業を渡り歩く他、フリーラ  
ンスの科学ライター・編集者の経験がある。

**吉野敏弘**  
株学研プラス 科学・数学教育編集部  
統括編集長  
ふろくつき月刊誌『科学と学習』、図鑑などの  
制作を経て、現職に。編集を担当した、まん  
が家あざりよしと氏の単行本『宇宙へ行きたく  
て液体燃料ロケットをDIYしてみた』が、  
2014年の科学ジャーナリスト賞、星雲賞(ノン  
フィクション部門)を受賞。法学部出身。

**齊藤元章**  
株PEZY Computing 社長/研究開  
発系リアルアントレプレナー、医師・  
医学博士  
「東日本震災を機に、海外での研究開発  
と事業経験を復興に活かすべく拠点を日本  
に戻し、医療に限定しない自然科学と  
産業全般の研究開発に方針転換。  
小型・低消費電力の独自次世代スーパー  
コンピュータの開発に加え、史上初の汎  
用人工知能の実現に向けて、スカンク  
ワークス型の開発チーム複数を組成して  
率いる。」

**黒ラブ教授**  
大学の先生芸人(吉本興業)/国立科学博  
物館認定サイエンスコミュニケーター  
理系も笑いネタを披露。女子中高生、文  
系も多いのが特徴。科学が苦手な人向  
けの科学コミュニケーションとして注目され  
ている。TV(サイエンスZERO等)、雑誌やイ  
ベントで活動中。2012年、JSTサイエン  
スアゴラ賞、フジテレビ賞受賞。

**大塚惇平**  
ヴォイスパフォーマンスの活動を通して笙  
(しょう)の響きの世界と出会う。笙、右舞、  
歌物で豊英秋氏に師事。雅楽古典の演  
奏・研究をベースにしつつ、現代音楽や  
即興演奏、他ジャンルとの交流を積極的  
に行う。

**Konoha**  
龍笛(りゅうてき) 演者。龍笛は2オクターブ  
の音域をもち、低音から高音を縦横無尽  
に駆け抜ける音色は「舞い立ち昇る龍の  
鳴き声」と例えられる。